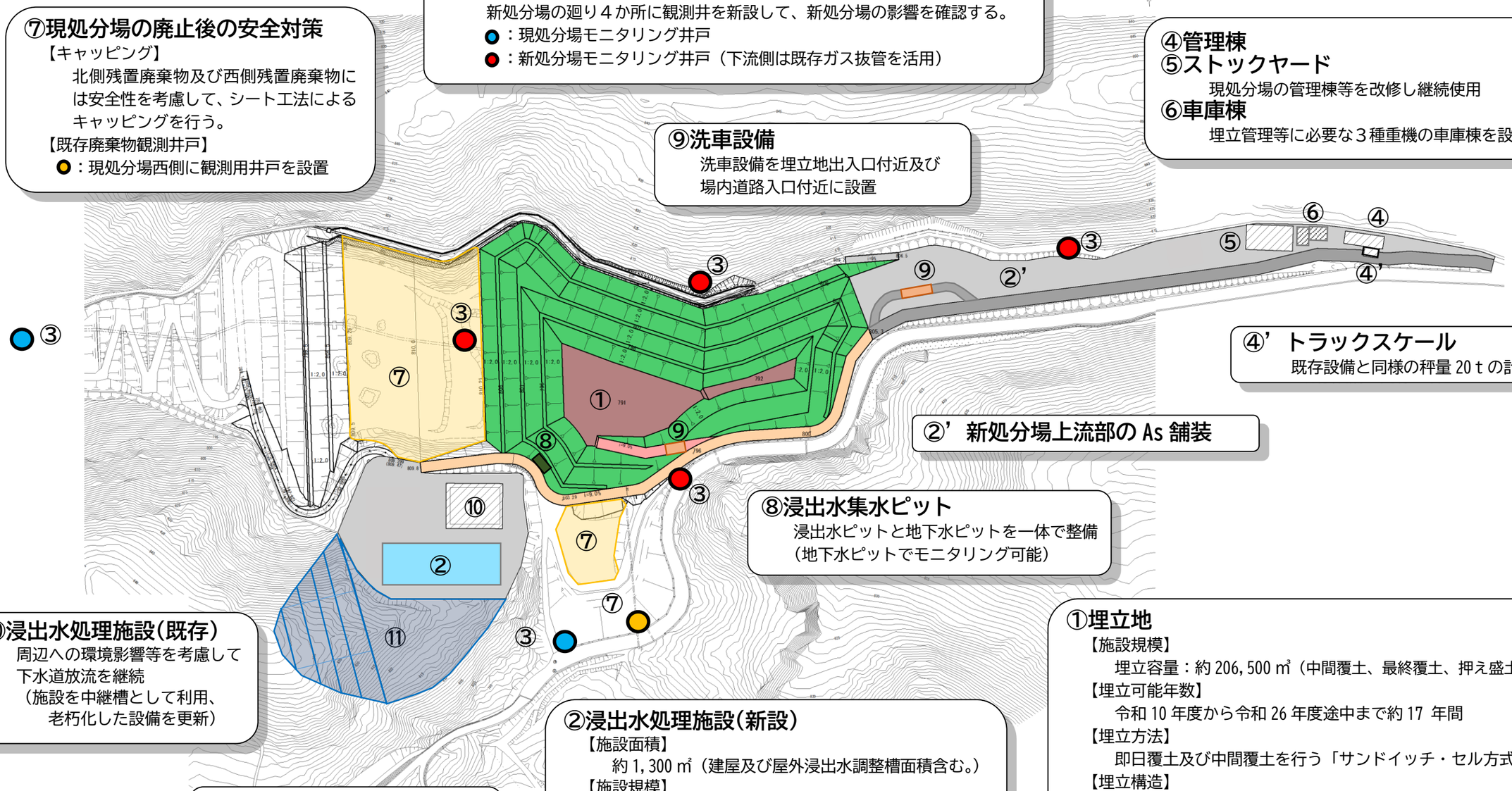
エコトピア山田再整備事業（全体配置図）



③環境監視（モニタリング）施設【地下水モニタリング計画】

既存観測井によりエコトピア山田全体の地下水を把握するとともに、
新処分場の廻り４か所に観測井を新設して、新処分場の影響を確認する。

●：現処分場モニタリング井戸

●：新処分場モニタリング井戸（下流側は既存ガス抜管を活用）

⑦現処分場の廃止後の安全対策

【キャッピング】

北側残置廃棄物及び西側残置廃棄物には安全性を考慮して、シート工法によるキャッピングを行う。

【既存廃棄物観測井戸】

●：現処分場西側に観測用井戸を設置

④管理棟

⑤ストックヤード

現処分場の管理棟等を改修し継続使用

⑥車庫棟

埋立管理等に必要な３種重機の車庫棟を設置

⑨洗車設備

洗車設備を埋立地出入口付近及び
場内道路入口付近に設置

④’ トラックスケール

既存設備と同様の秤量 20ｔの計量設備を更新

②’ 新処分場上流部の As 舗装

⑧浸出水集水ピット

浸出水ピットと地下水ピットを一体で整備
（地下水ピットでモニタリング可能）

⑩浸出水処理施設（既存）

周辺への環境影響等を考慮して
下水道放流を継続
（施設を中継槽として利用、
老朽化した設備を更新）

⑪土取場

生活環境への影響を低減するため、
建設工事の盛土材を現地採取

②浸出水処理施設（新設）

【施設面積】

約 1,300 ㎡（建屋及び屋外浸出水調整槽面積含む。）

【施設規模】

施設	調整設備容量	下水道放流量
新処分場	3,300㎥	60㎥/日
現処分場	2,100㎥	60㎥/日
計	5,400㎥	120㎥/日

【新処分場水処理方式】

カルシウム除去設備　（アルカリ凝集沈殿処理法）
物理化学処理設備（砂ろ過法）

【汚泥処理方式】

重力濃縮＋脱水処理（脱水汚泥は埋立地で埋立処分）

①埋立地

【施設規模】

埋立容量：約 206,500 ㎥（中間覆土、最終覆土、押え盛土含む。）

【埋立可能年数】

令和 10 年度から令和 26 年度途中まで約 17 年間

【埋立方法】

即日覆土及び中間覆土を行う「サンドイッチ・セル方式」

【埋立構造】

浸出水集排水管が大気に開放されている「準好気性埋立構造」

【遮水工施設】

二重遮水シート構造
（保護材＋遮水シート＋中間保護材＋遮水シート＋自己修復材）

【漏水検知システム】

電気的漏水検知システム（埋立地全体を検知範囲とする。）